戦略及び指標と目標

当社グループは、マテリアリティを"2030年ビジョン実現のための重要経営課題"と位置づけています。特定した当社グループのマテリアリティは「価値創造トピック」と「価値向上トピック」とに分類され、2030年ビジョン実現のための戦略の幹「アンメットメディカルニーズを満たす医薬品の提供」「患者さんを中心においた医療ニーズへの対応」「社会からの信頼獲得」「Life-changingな価値を実現する人材・基盤の強化」とも対応しています。そのうえで、マテリアリティについてゴールを定め、戦略的に取組んでいくことがビジョンの実現、ひいては、当社グループと社会のサステナビリティの両立につながると考えています。

マテリアリティごとの機会・脅威と指標(及び目標) 価値創造トピック

価値創造トピック					
戦略の幹	マテリアリティ	定義	取組むことで得られる機 会	取組まないことで生じる 脅威	指標* 2
アンメットメ ディカルニーズ を満たす医薬品 の提供	革新的な医薬品の 創出	短期的な収益性との適正なパランスを保ちながら、中長期的な視点に基づく研究に対する積極的な投資(オープンを通じ、アンメットメディカルニーズを満たす革新的な医薬品(Life-changing value)を創出し続ける	・日本発のグローバル・スペシャリティファーマとしての存在意義・新たな価値の向上・当社グループの強みとする領域の拡大・共同研究や開発機会の増加	・当社グループの存在意 義の低下 ・ビジョンの未達 ・新たな価値の創出機会 の逸失 ・共同研究機会の減少	
	製品の価値最大化	創出した医薬品の真の価値を見極め、適応拡大、 剤形追加を推進し、製品同士のシナジー効果も考慮しながら価値の最大化を図る	・適応/剤型拡大:開発 試験/製造における期 間短縮及び効率化、医 療ニーズへの対応によ る薬剤価値の増加 ・上市国・地域の拡大: 病気と向き合う人々の 経済的負担軽減(保険 償還)を伴う提供価値 のインパクト増加	・本来の製品価値を最大 化しないことによる、 病気と向き合う人々の 負荷の増加 ・経済的価値の低下	・Life-changing value としての革新的医薬品 の創出数(承認) ・それぞれのLife- changing valueの売上
	パイプラインの充 実	ポートフォリオ分析に基 づき、開発の効率性向上 とパートナリングの機会 の活用により、注力する 疾患領域を中心にパイプ ラインを充実する	・日本発のグローバル・スペシャリティファーマとしての注力する疾患領域での存在意義の増大(患者さんへの提供価値の増大)・資本の効率的な有効活用による企業価値の増大	・当社グループの強みと する領域における存在 意義の低下 ・競合に対する競争力の 低下	
患者さんを中心 においた医療 ニーズへの対応	医薬 へのアクセス 向上	病気と向き合う人々の声を聞きたい、アーリスである。 ディカルニーはでは、一てで変ない。 を選されたの患者にはない。 も多だけ早くにといる。 もだけたちの使かととらるが、 を薬にしまするとと、 方針*1に変いる。 (特に医薬の向上)に取組む	・企業の存在意義の増大 ・各地域の患者支援団体 との関係の維持強化に よる企業認知と信頼性 の向上	・Life-changing value を創出する会社として の存在意義の低下 ・患者さんの声を聞く機 会の逸失、疾患に対す る社会の理解不足によ る、マーケット拡大機 会の逸失	・注力する疾患領域品 の、上市国・地域、薬 剤提供患者数(もしく は比率)
	医薬品にとどまら ない医療ニーズへ の新たな取組み	患者さんからのインサイトに基づく医薬品にとどまらないヘルスケアソ リューションの取組みを	・新たな価値の提供・新市場への進出	・Life-changing value とイノベーション創出 機会の逸失	・医薬品にとどまらない 新たな価値の提供